

タイトル：2021 年度研究セミナー（第 22 回）

日時：2021 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）

オンライン開催

「現代パキスタン農村部におけるパルダの解釈・実践・継承」

賀川 恵理香（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士一貫課程）

2018 年度の中東☆イスラーム教育セミナーにて発表させていただいた際、博士課程進学後は研究セミナーの方に参加することを目標として据えたため、今回発表の機会をいただくことができとても嬉しかったです。特にパキスタンからの帰国後、博士論文執筆の方向性がなかなか定まらず、迷走する日々が続いている中での発表だったので、研究内容はもとより、博士論文を書く心意気のようなものを学ぶことができたような気がしています。

自身の発表に関しては、細かい事例ばかりで話の全体像が掴みにくいものとなってしまったことを反省しつつ、しかし、さまざまな観点からコメント・ご質問をいただくことを通して、今後の課題を明確化させることができました。発表前は、自身の研究の方向性を決めなければ、と焦ってしまっていたのですが、それ以前に、もっと研究内容や調査データの整理を進めることが必要だということがわかりました。1 時間発表+1 時間質疑応答という長丁場でしたが、私にとってはあつという間に感じられました。先生方および受講生の皆様には辛抱強くお付き合いいただけてとてもありがたかったです。

他の受講生の方の発表を伺えたことは、私にとって大きな糧となりました。分野は違えど、同じ博士課程の学生という立場にあって、博士論文がまさに出来上がっていく過程を間近で見つめることができ、とても刺激的でした。さらに、プログラム「私の博士論文」において、細田先生の博士論文執筆話を伺うなかで、研究を進めるにあたっての姿勢を学ばせていただきました。

今回は昨年に引き続きオンライン開催ということで、皆様に対面でお目にかかることは叶いませんでしたが、その分 Slack にて交流できるようにしていただいたり、オンライン形式の懇親会の場を設けていただいたりしたので、全く不足はございませんでした。特に Slack に関しては、セミナー終了後も使えるようにしていただいていたので、追加の質問等を行うことができ大変助かりました。今後もぜひ、今回培ったネットワークを活かしていきたいと思えます。

最後に、本セミナーを運営、企画してくださった先生方、事務局の皆様にご心より感謝を申

し上げます。2日間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。